

学生ゴルファー 高宮千聖 (福井工大2年 明德高出)

歴史に名を刻むプロへ

有望な若手が台頭している男子プロゴルフ界で、明德義塾高出身の高宮千聖(19)が福井工大2年がトッププレーヤーを目指し、第一歩を踏み出した。初挑戦した7月の下部(A.B.E.M.A)ツアーで史上6人目のアマチュア優勝を達成してプロに転向。レギュラーツアーも経験した。夢は大きく「歴史に名を刻む選手」。視線の先には世界の舞台で活躍する明德の先輩、松山英樹がいる。

182センチ、90キロの堂々たる体格。飛距離と正確性のあるショットに加え、小技のうまさも持ち合わせる。ミスしても崩れない、粘りが身の上だ。

大学在学中のプロテスト合格を目指していたが、進学先の福井県での下部ツアーで一気に未来が開けた。初日から首位を譲らぬ完全優勝。売り出し中の蟬川泰果(東北福祉大4年)らに並ぶアマ優勝者に名を連ねた。2年間の下部ツアー出

下部でアマV(史上6人目)経て転向

「明德に進学できなかったらゴルフは続けられなかった」と話す高宮千聖。米ツアーで戦える選手を目指す

(福井市の金井学園ゴルフ練習場)



場権も獲得し、「チャンスを生かさないと。明德の恩師もプロ転向を応援してくれた。」

熊本県出身。祖父の影響で小学2年からクラブを握り、地元中学ではバレーボール部。しかし、「自分の力で切り開く」ゴルフの魅力が忘れられず、中学2年で本腰を入れた。やるからはプロ。「県内は甘えが出るし、家にも負担をかけられ

た。明德に来て人生が変わりました」と話す。プロデビュー戦は8月の「KBCオーガスタ」(福岡県)。この試合で初勝利を挙げた河本力(愛媛県出身)と予選同組で回り「危ない場面をつくらない。優勝者のゴルフを間近で見られたのは勉強になった。」

今季、ルーキープロとして7試合を転戦。初勝利には届かなかったが「プロは毎週のように試合が続く厳しい世界。調整の難しさも体感できた」と収穫も口に

同期に福住将、修の兄弟(以上専大2年)があり、1学年上には7月の日本アマ選手権を制した岡田豊平(東北福祉大3年。現在も学生ゴルフ界を引っ張る実力者たちと競い合い、2年時には茨城国体少年男子団体準優勝も経験。「仲間に応まれてメンタルも強くなっ

た。同期に福住将、修の兄弟(以上専大2年)があり、1学年上には7月の日本アマ選手権を制した岡田豊平(東北福祉大3年。現在も学生ゴルフ界を引っ張る実力者たちと競い合い、2年時には茨城国体少年男子団体準優勝も経験。「仲間に応まれてメンタルも強くなっ

(横田幸成)

12/20
高知新聞より